

青森県事業用自家消費型太陽光発電設備等導入支援事業費補助金

GX青森の推進を ビジネスチャンスに

公募期間

＼予算がなくなり次第終了／

5/11(月)～12/11(金)

県内事業者の脱炭素経営を推進するため、事業に用いる自家消費型太陽光発電設備や蓄電池の導入に要する経費の一部を補助します。

※環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金活用事業

補助金の詳細
申請書の入手はこちら



太陽光発電設備・蓄電池導入で
脱炭素経営を進めませんか

	[太陽光発電設備] 自家消費型に限る	[蓄電池] 太陽光発電設備に付帯する設備に限る
補助単価 補助率	● 中小企業者の場合 太陽光発電設備の出力(※)×5万円/kW ● 中小企業者以外の場合 太陽光発電設備の出力(※)×2.5万円/kW ※太陽光パネル又はパワーコンディショナーのいずれか小さい方	(1) 設備導入に要する経費の1/3 (2) 下記の1/3 ① 蓄電池容量20kWh以下の場合 蓄電池容量×14.1万円/kWh ② 蓄電池容量20kWh超の場合 蓄電池容量×16.0万円/kWh (1)または(2)のいずれか小さい方
補助上限	500万円	530万円
対象者	- 県内に本社又は事業所を有する中小企業者（中小企業基本法第2条に規定する者等） - 県内に本社又は事業所を有する会社法上の会社（上記に該当しない大企業等）	
対象経費	工事費、設備費、業務費、事務費	
事業期間	交付決定日(公募期間中、月1回審査を行い交付決定)～令和9年2月22日(月) ※実績報告期限は、事業完了日から30日以内又は令和9年2月22日(月)のいずれか早い方	

補助金に関するお問い合わせ・提出先はこちら

青森県太陽光補助金事務局

〒039-1104
青森県八戸市大字田面木字船場道下7番2号
(NPO法人循環型社会創造ネットワークCROSS内)

☎ 0178-41-2400

開設期間：令和8年5月11日～令和9年2月26日
(土日祝日及び年末年始を除く)
受付時間：平日9時～17時まで

裏面で導入事例を
紹介します

青森県内の導入事例の紹介

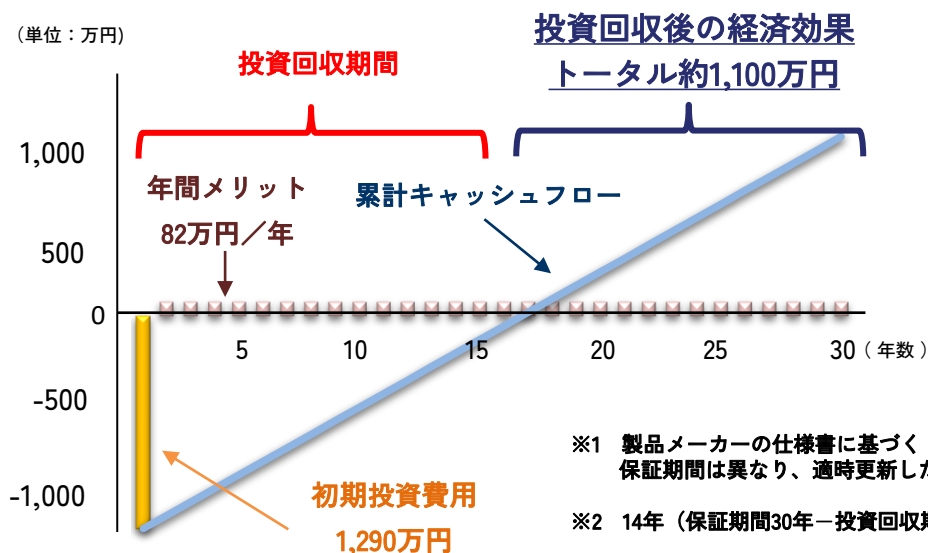
降雪エリア・自家消費型でも経済効果を発揮します！

▶ 県内の導入事例を紹介します！

製品メーカーから提供された県内における太陽光発電設備の導入実績について、一部加工し作成（本補助金を充当した場合に置換）

県内A事業者の導入状況		初期投資費用	
業種	水産加工業	総事業費	22,000,000円
設置場所	工場屋根	補助金	▲2,500,000円
太陽光パネル	82.6kW	減価償却による節税 ※耐用年数17年	▲6,600,000円
パワコン	50kW	年間メリット	
蓄電池	なし	自家消費による電気代削減額	
発電期間※降雪期除く	4月～11月	メンテナンス費用	
		820,000円	
		1,300,000円	
		▲480,000円	

（単位：万円）



太陽光パネルの出力保証期間を
30年（※1）とした場合、
投資回収後のメリットは、
トータル約1,100万円（※2）と、
長く使うほど経済効果が高い
ことが分かります！

※1 製品メーカーの仕様書に基づく（太陽光パネルの周辺機器の保証期間は異なり、適時更新した場合の事例です）

※2 14年（保証期間30年－投資回収期間16年）×82万円＝1,148万円



- ・太陽光発電設備は経年劣化するため、発電量及び経済効果は徐々に低下するほか、経済効果は電気料金や設備の維持状況等により変動します。そのため、当事例はあくまで参考値であり、将来の収益を保証するものではありません。
- ・メンテナンス費用については設備条件により異なりますが、30年間運用する場合は、概ね2回程度の主要メンテナンスが発生する想定です。

▶ 疑問や不安にお答えします

Q 雪が積もって発電しない場合でも設置する意味はあるの？

降雪により発電量の低下や設備に負荷がかかることがありますが、設置状況によっては、年間を通して電気代の削減や非常時の備えなどメリットがあります。

Q パワコンや蓄電池の寿命や将来の交換や廃棄費用が心配

将来的に修理、更新や廃棄にかかる費用が発生する場合がありますので、導入時点において、廃棄までリスクを見据えたシミュレーションしておくことをお勧めします。

Q 自社の場合はどのくらい効果があるのか知りたい

導入効果の最大化には電気の使用実態に合った提案が重要ですので事務局へご相談を！

